



## 農家からの提案とトーク

# やまの畑とまちの食卓をつなごう

鳴子の野菜を仙台へ—新しい産直のかたち「CSA」とは？

▶ 2019年3月17日(日)

13:30~16:00

▶ 仙台市戦災復興記念館

5F 会議室

▶ 定員 / 70名

▶ 参加費 / 500円

資料+鳴子の米プロジェクトゆきむすび2合のおみやげ

▶ 裏面のお申込書にご記入のうえ FAX するか E-mail でどうぞ

### プログラム

13:30 活動紹介と提案

「プロジェクト鳴子 CSA の取り組みと  
これからの展開」

14:00 トーク

「食と農を守る—鳴子 CSA がめざすこと」

講師 結城登美雄氏

(民俗研究家・プロジェクト鳴子 CSA 総合アドバイザー)

● ゆきむすびのおむすびの試食タイムもあります。

## 「CSA」ということばを聞いたことがあるでしょうか？

地域が支える農業=Community Supported Agriculture という意味。産直よりさらに一歩進んで、農家と消費者が信頼を寄せ合い、1年分の農産物を予約してもらって生産販売する農業の新しいかたちです。13年前から、お米「ゆきむすび」をこうしたやり方で生産してきた「鳴子の米プロジェクト」では、新たに「プロジェクト鳴子 CSA」を立ち上げ野菜の販売を始めようと計画しています。天候に左右されやすい農業と災害にもろい都市の暮らしをむすんで、食べることをもっとしっかりしたものになりたい。山間地の小さな農の現場から、大都市仙台に暮らす人たちへの提案です。

▶ お問い合わせ・お申し込み

### プロジェクト鳴子CSA

事務局：NPO 法人 鳴子の米プロジェクト

〒989-6822 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼 77-84

E-mail / [komepro181@yahoo.co.jp](mailto:komepro181@yahoo.co.jp)

TEL / 0229-29-9436 FAX / 0229-29-9437



# 畑と食卓を直接つないで、 足腰のしっかりした暮らしを

わたしたちのこゝと、そして、CSAが実現していくこと

## プロジェクト鳴子 CSA—13年の活動の上に

山間地の小さな農家が希望をもって米づくりができるよう直接食べ手とつながり、持続できる価格で販売を続けてきた「鳴子の米プロジェクト」。新たな品種「ゆきむすび」の栽培を旗印に2006年に始まった活動は、お米の売買にとどまらず、毎年田植えや稲刈りの際に作り手と食べ手が交流するなど、コミュニティとよべるつながりが生まれるまでに育っています。こうした活動を野菜に広げようと、昨年新しい取り組み「プロジェクト鳴子 CSA」をスタートさせました。農家の畑に育つ野菜を仙台の方たちにおすそわけし、しっかりとしたつながりの中で、農家にとっての安定的な生産と、消費者にとっての安心できる食卓を実現したいと考えています。



2018年の田植えを終えて、みんなで記念撮影

## CSA 地域が支える農業

「地域支援型農業」ともよばれます。消費者が、地域の農家とかわりながら、農産物を直接、代金前払いで定期購入するしくみ。もともとは日本で生まれた営農形態でしたが、現在は農産物の大規模生産、大規模流通が進むアメリカで、こうした流れに抗して暮らしを守ろうとする小さな農家と市民が手を結び、各地で行われるようになっていきます。消費者にとっては新鮮で出所のはっきりした野菜を手で、農家にとっては顔のみえる消費者に畑の事情を理解してもらいながら農業を続けていけるというメリットがあります。日本でも地域の農業を守るために着目されています。



ニューヨーク州イサカのスティック・アンド・ストーン農場の農作業小屋に設けられたCSA受け渡し会場（2017年6月撮影）

## ◎講師紹介

結城 登美雄 氏  
プロフィール

東北地方を中心に600をこえる農山村集落を訪ね歩き、「地元学」を提唱。その思想と手法で「食の文化祭」（宮城県旧加美町）をはじめ、全国農山村の再生に向けた多様な実践をプロデュースする。鳴子温泉では2006年に、稲作農家が持続可能な価格で直接食べ手とつながり農業を続けていくための「鳴子の米プロジェクト」を実現し、現在総合プロデューサー。2004年に文部科学賞芸術選奨、2011年に河北文化賞を受賞。著書に『地元学からの出発』（農文協）、『命をつなぐみやぎの食と農』（仙台農業協働組合）など。1945年生まれ。

▶お問い合わせ・お申し込み

## プロジェクト鳴子 CSA

事務局：NPO 法人 鳴子の米プロジェクト

〒989-6822 宮城県大崎市鳴子温泉字星沼 77-84

TEL/0229-29-9436 FAX/0229-29-9437

E-mail / [komepro181@yahoo.co.jp](mailto:komepro181@yahoo.co.jp)



駐車場がありませんので、公共交通でお出かけください。

会場/  
仙台市戦災復興記念館  
5F 会議室  
〒980-0804  
仙台市青葉区大町2-12-1  
TEL/022-263-6931

▼参加申込書にご記入いただき FAX するか、または E-mail でお申し込みください

参加お申込書	氏名 (ふりがな)
	連絡先 (電話またはメールアドレス)